

先輩職員の声

リサイクルセンター長谷山

武久 弘太

(平成 29 年度行政事務職採用)

**事務職として現場に入るとは、幅広い知識を得ることが出来、
良い仕事をするにつながります。**



Q1 当組合に入る前は何をしていましたか

大学は工学部へ入学し、機械、化学、生物と幅広い分野を専攻し、研究室では細菌を用いた遺伝子組み換えの手法について研究していました。卒業後は、自動車や電子機器のセンサー、コネクタ等の精密部品メーカーに勤務し、そうした部品を量産するための生産機械の設計を行っていました。

その後、地元での就職を望んだ際、遠距離の転勤が無い公務員を視野に入れ調べたところ、当組合の求人を見つけ、「工場+公務員」という職場構成に魅かれ、応募しました。

Q2 仕事・職場について

行政「事務」職と言えども、配属される部署によっては、事務のみならず現場での作業や、工場の運転員としての業務に携わることがあります。市役所・町役場とは少し異なり、当組合は工場有りきの職場であるので、事務を遂行する上では工場の仕組みはもちろん、現場での実情、細かい交換部品についてまで知っている方が好ましい場面が多々あります。そうした点で、事務職として現場に入るとは、幅広い知識を得ることが出来、良い仕事をするにつながると思います。

私は現在、粗大不燃ごみ処理施設である「リサイクルセンター長谷山」に所属しています。予算の執行管理、編成が主な業務ですが、工場運転に携わることや、取引先の方とのやり取り、窓口対応など幅広く行う必要があります。それらの業務を同時に遂行する必要があるので大変な時もありますが、色々なことが経験できるので、やりがいを感じ、毎日頑張っています。

Q3 城南衛生管理組合を受験される方へ

文系だから・・・、理系だから・・・、と考えている方もおられるかもしれませんが、フィボナッチ数列や、徳川十五代将軍を知っていなくても問題ありません。もちろん知っていた方が良いこともありますが、当組合の業務を行っていく上で身に付けていけば良いですし、わからないことがあれば上司や先輩が優しく教えてくれます。また、研修や資格取得の制度など、学ぶ機会はたくさんあります。

新生活に向けて、やる気と希望に満ち溢れた若い皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

Q1 当組合に入る前は何をしていましたか

大学では人文地理学を専修し、人やまち、文化に関わることを勉強していました。

前職は半導体・電子部品のメーカーで営業事務に従事していました。ものづくりの仕事も楽しかったですが、形ではない人の生活やサービスに関わる仕事で人々の暮らしに貢献したいと考えていたところ、当組合に出会いました。また、ISO業務に携わっていた経験から、環境への興味もあり、住民のみなさんの生活環境の維持・向上を担う、組合に応募しました。

Q2 仕事・職場について

城南衛生管理組合では毎年10月に環境まつりを実施していますが、今年は主担当として運営に携わりました。イベントの運営は初めての経験で、自分に務まるか不安もありましたが、準備期間から当日まで、係内から工場までたくさんの先輩方のフォローがあり、無事に終えることができました。住民のみなさんの楽しそうな笑顔や環境意識の高まりの声に啓発事業の役割を再認識し、やりがいを感じました。

女性の少ない職場ですが、その分、他部署の女性の先輩から声を掛けて頂いたり、相談にのってもらえる機会も多く、不安を感じることはありません。また、仕事においては女性男性関係なく活躍されている印象です。福利厚生も充実しており、現在育休に入られている先輩もいますし、子育てをしながら仕事に奮闘されている先輩方の姿もあり、長く安心して働ける職場だと思います。



Q3 城南衛生管理組合を受験される方へ

事務職といってもさまざまな仕事がありますし、チャレンジできる雰囲気もあります。

皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

総務課

田邊 知世

(平成 29 年度行政事務職採用)

**住民のみなさんの楽しそうな笑顔や環境意識の高まりの声に啓発
事業の役割を再認識し、やりがいを感じています。**